

VALUENEX株式会社
東証グロース：証券コード4422

2025年7月期 決算補足説明資料.

2025年9月11日

VALUENEX

MISSION .

VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です。

全ての人が情報を最大限に活用する未来へ。

現代社会は情報過多の時代です。しかし、その大量の情報を適切に処理・解析できる能力が個々人に求められる一方で、情報の偏りがないことを確認することも同時に重要となっています。しかし、現状ではこれらの能力に格差が生じ、情報の活用が限定的となっています。

VALUENEXは、世界中の誰もが大量かつ必要十分な情報を独自に解析し、得られた知見を起点として新しいアイデアやコンセプトを生み出すことができる世界を実現することで前述の課題を解消し、知の創造を促進します。

誰でも知を創造できる世界の実現に向けて、私たちは情報と知識の世界において持続可能な変革と発展のために努力し続け、「知」を求める全ての人に価値を提供します。

VISION .

**俯瞰技術を極め、顧客のイノベーションをサポートする
世界のフロントランナーとなる。**

※イノベーションとは、経済的価値・社会的価値を生み出す新しいモノ・コトをいう

項目

1

2025年7月期業績報告

2

2026年7月期連結業績予想

3

事業概要

2025年7月期 決算ハイライト

新規案件の受注は順調だったものの、北米大手顧客の内3社の社内体制の変更とトランプ関税の影響、一部案件の成約が遅延していることにより、海外におけるコンサルティングサービスの成果は一部翌期に持ち越しとなりました。

1	<p>売上高、各段階利益において前年を下回りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 : 690百万円 (前年比 ▲95百万円、▲12.1%) ・営業利益 : ▲73百万円 (前年比 ▲78百万円) ・経常利益 : ▲73百万円 (前年比 ▲79百万円) ・最終利益 : ▲82百万円 (前年比 ▲85百万円)
2	<p>売上高合計では前年を下回ったものの、コンサルティング売上の期末受注残は3Qから38百万円増加しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング売上(フロー型売上) : 355百万円 (前年比 ▲21.9%) <li style="padding-left: 20px;">期末受注残 : 128百万円 ・ASP売上(ストック型売上) : 325百万円 (前年比 +1.4%) <li style="padding-left: 20px;">期末受注残 : 216百万円
3	<p>売上減少にともない売上原価は減少したものの、人材や研究開発の投資コスト、業務委託費の増加により販管費は増加し、コストは前年並みとなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト(売上原価+販管費) : 764百万円 (前年比 ▲2.2%)
4	<p>無借金経営継続、自己資本比率77.7%で堅固な財務基盤を維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金 : 708百万円 (総資産の78%/流動負債の3.5倍)

2025年7月期 連結業績概要

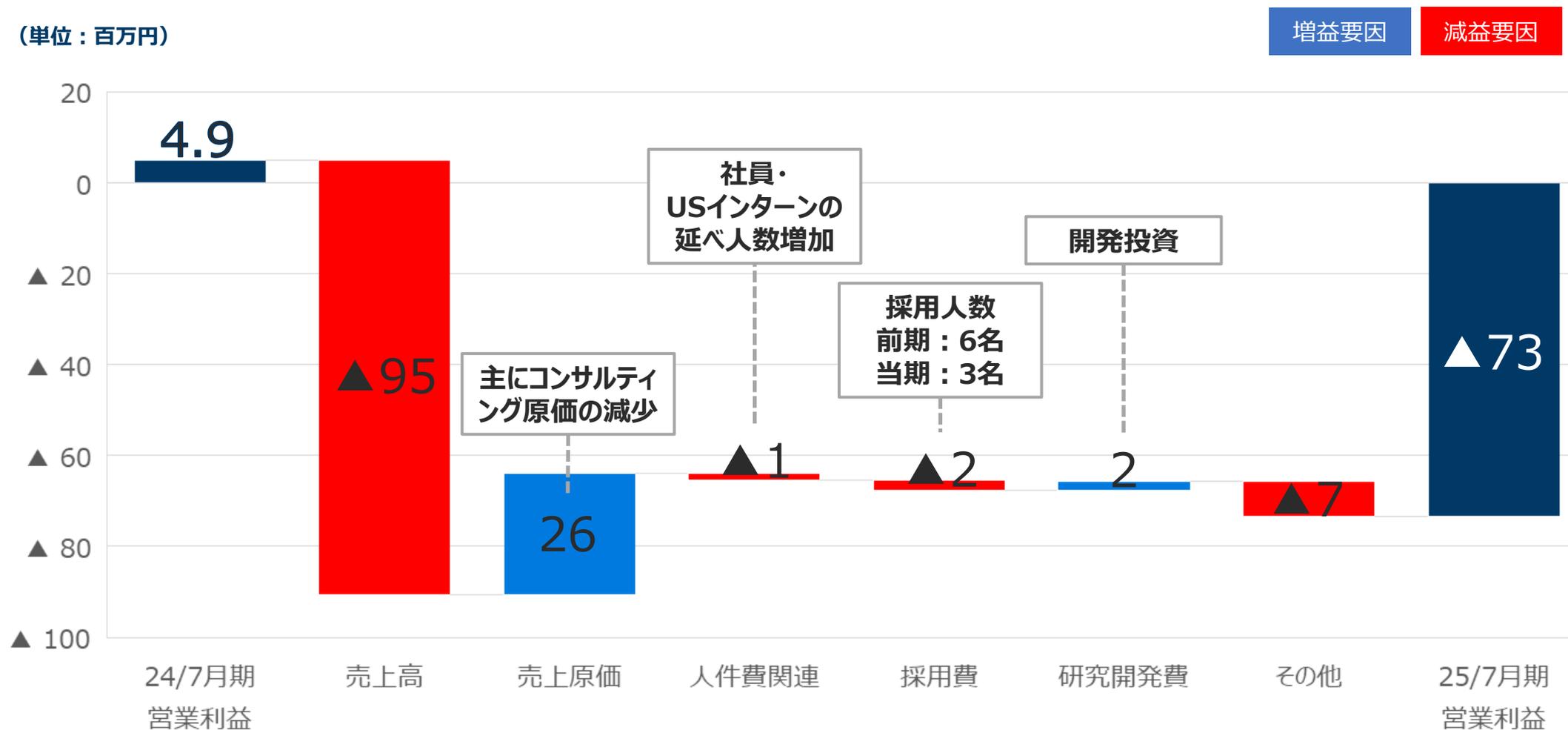
北米大手顧客の内3社の社内体制変更やトランプ関税の影響、一部案件の成約が遅延していることにより売上高減少および投資先行によるコスト増のため、各段階利益において減益いたしました。

(単位：百万円)	24/7月期 実績	25/7月期 実績	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	786	690	▲ 95	▲ 12.1%
売上総利益	598	529	▲ 68	▲ 11.5%
販管費	593	602	9	+1.6%
営業利益	4	▲ 73	▲ 78	-
経常利益	5	▲ 73	▲ 79	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	3	▲ 82	▲ 85	-

2025年7月期 累計連結営業利益増減要因

主に売上高の減少が影響し、減益いたしました。
その他の項目については予定通りでした。

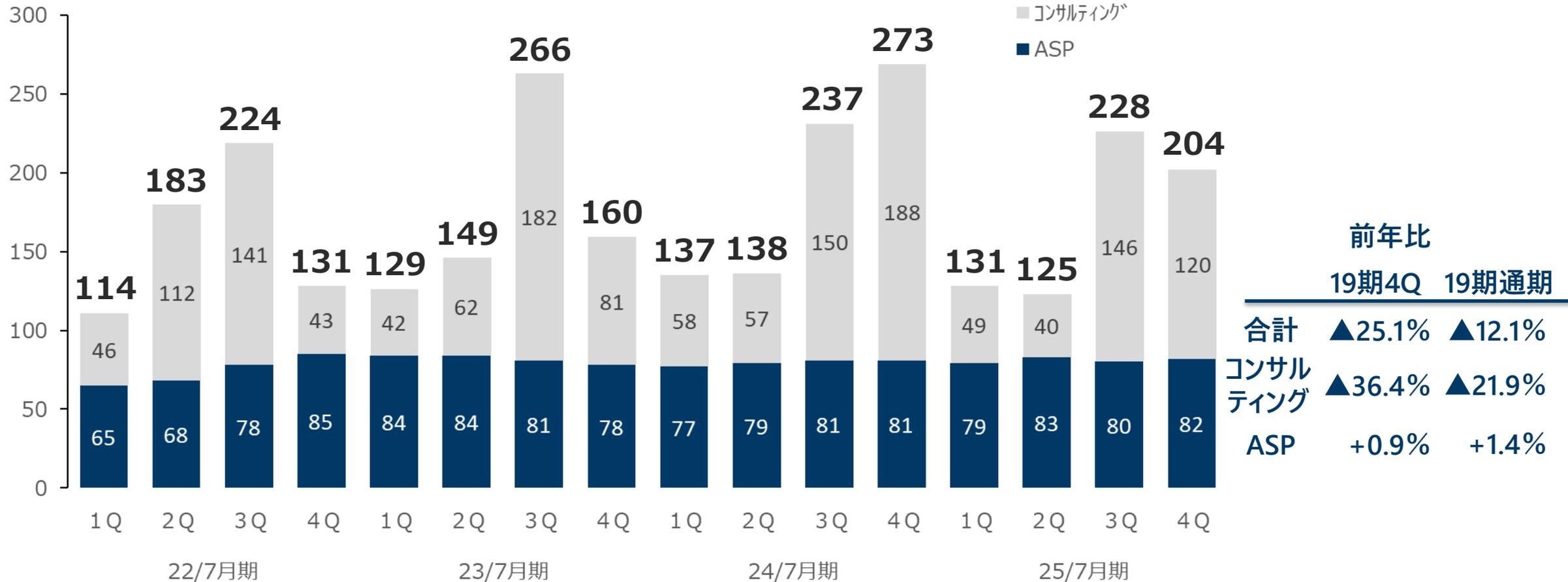
(単位：百万円)



連結売上高の推移（サービス別）

コンサルティング売上：4QにおけるUSの減少により通期で前年を下回りました。

ASP売上：3Qでは前年同期を下回ったものの、通期で前年を上回りました。

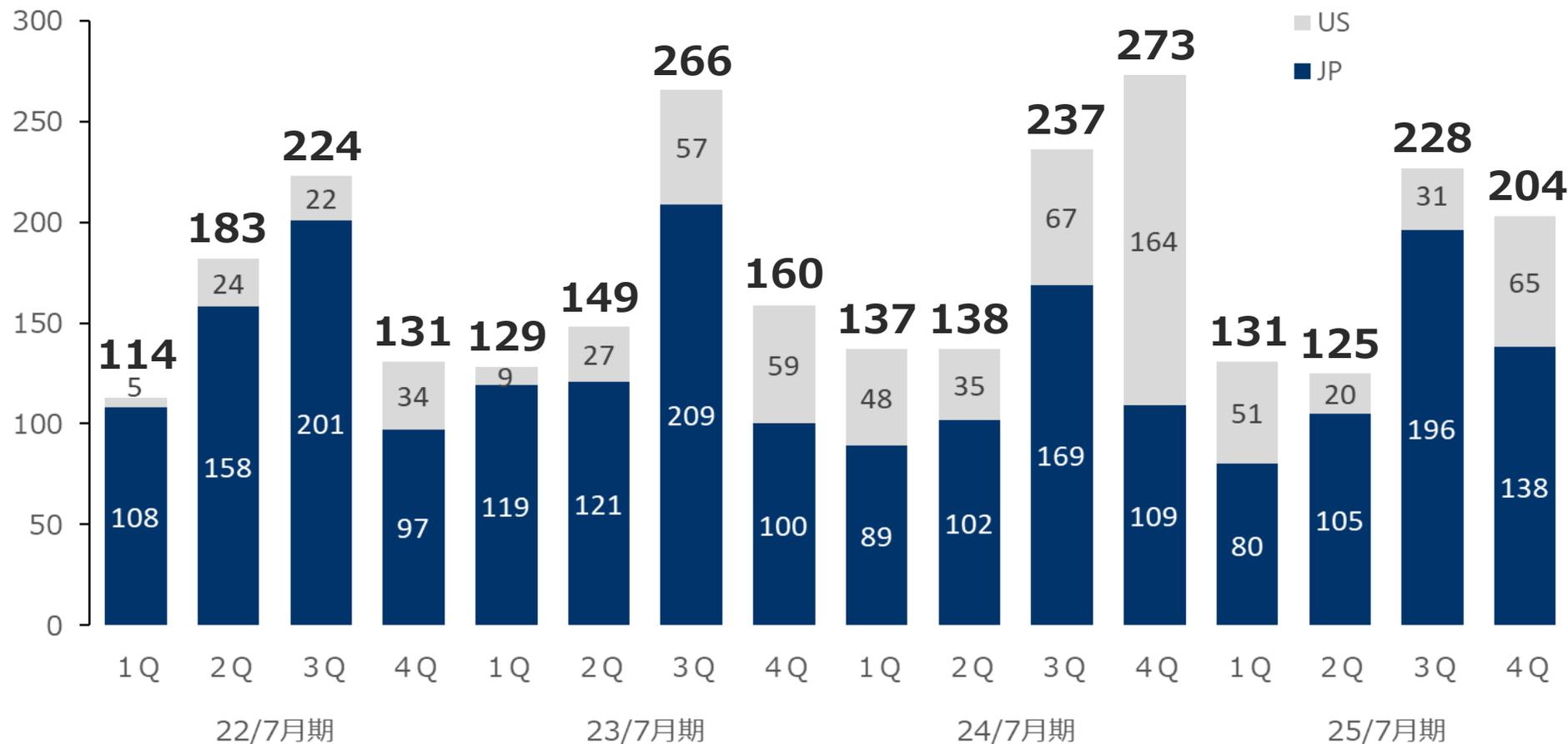


※コンサルティングとASP売上以外に、データ販売やレポート販売等のその他売上もありますが、少額のため合計値にのみ合算しております。

連結売上高の推移（地域別）

US：1Qでは前年同期を上回ったものの、成約の遅延等により通期では前年を下回りました。

JP：2～4Qで前年同期を上回り、通期でも前年を上回りました。

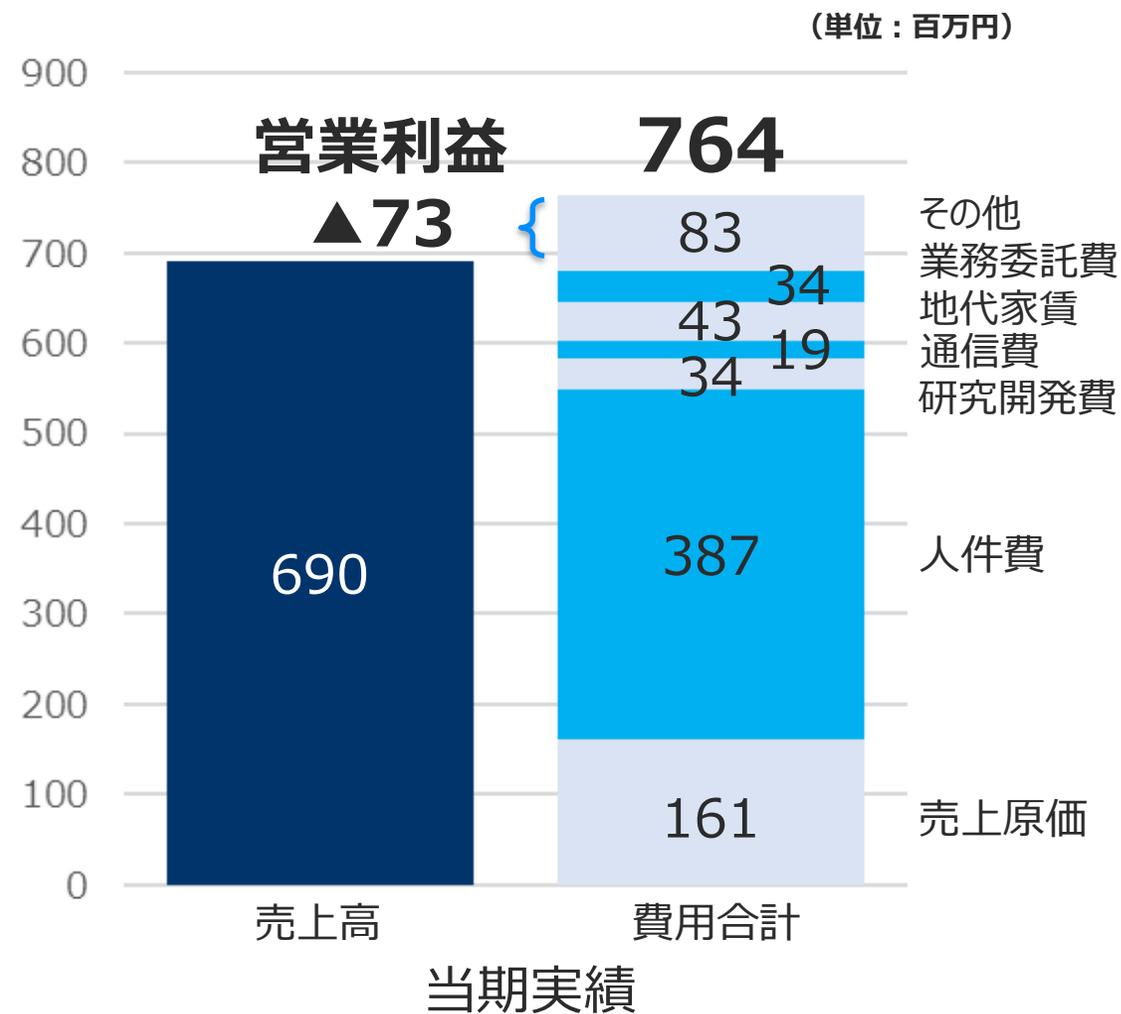
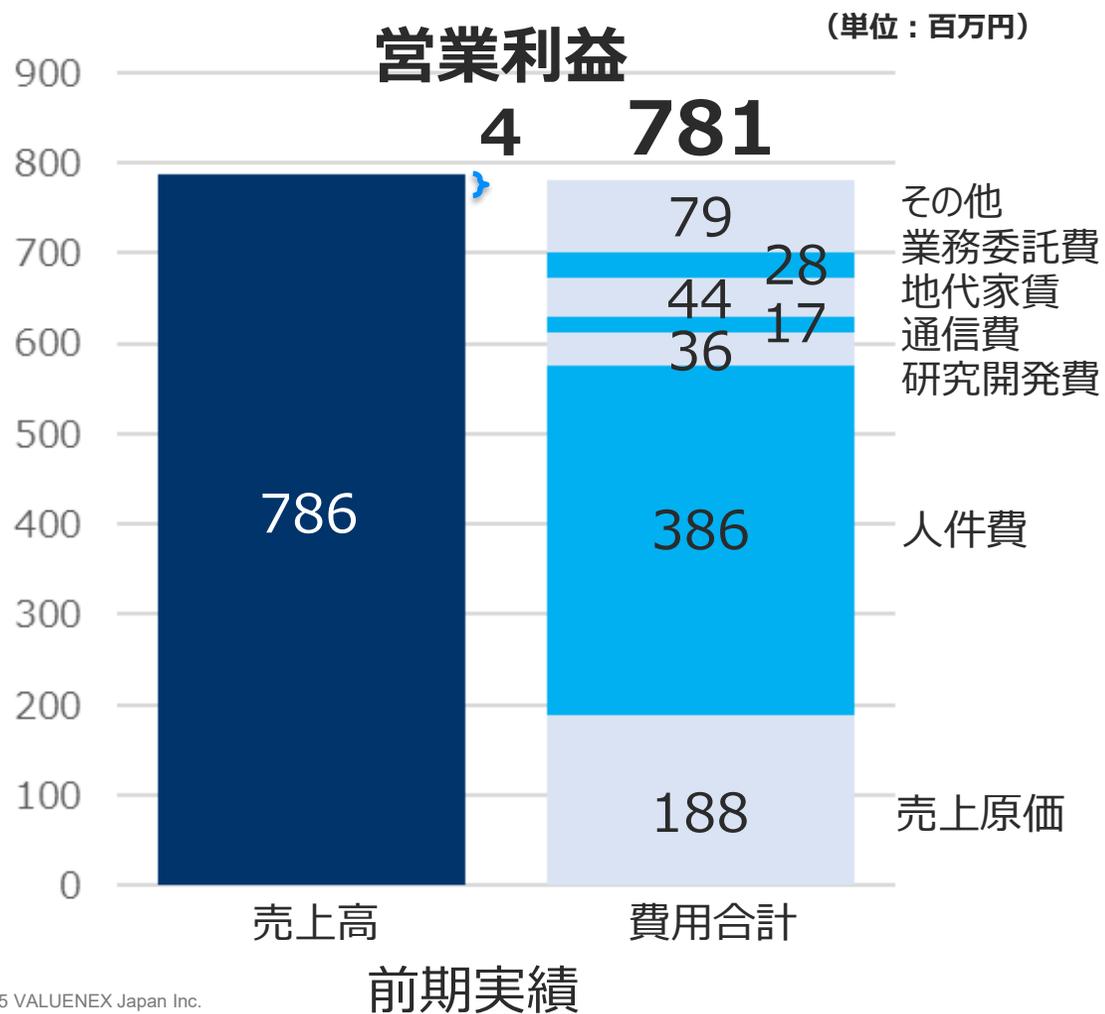


	前年比	
	19期4Q	19期通期
連結	▲25.1%	▲12.1%
US	▲59.8%	▲46.2%
JP	+27.1%	+10.7%

2025年7月期 連結営業費用の内訳

業務委託費の増加：主にUSの戦略支援業務の委託、その他JPの営業支援業務の委託による増加です。

売上原価の減少：売上高の減少にともなう原価の減少です。



VALUENEX, Inc. (米国) 第4四半期主な活動状況

営業活動	<ul style="list-style-type: none">• 日系大手のシリコンバレーでのイノベーションラボ活動をサポートする大型契約を遂行中です。• 日系大手のシリコンバレーでのイノベーション活動を支援する大型パッケージプランを遂行中です。
マーケティング	<ul style="list-style-type: none">• インサイト・カフェのMeetup & Happy hourを2ヶ月に1回の頻度に変更し、より深みのある内容で、様々な組織とコラボレーションしながらシリコンバレーのJapan Innovation Campus（経済産業省が主催する、起業家やスタートアップ等が活用できる米国・シリコンバレーのビジネス拠点）において開催し商談化に繋がっています。• 5月開催の量子コンピュータのビジネスカンファレンスであるQ2B Tokyo 2025にパートナーとして参加し、いくつかの商談につながっています。
開発	<ul style="list-style-type: none">• LLM(Large Language Model)を活用した新しいサービスを開発中です。
採用	<ul style="list-style-type: none">• スタンフォード大学・UCバークレー校からサマーインターンを7名採用しました。複数のグローバル・インターンシップ・プロジェクト（お客様の課題解決（特にAI関連）に関わるアイデア出しからプロトタイプ作成までを支援するサービス）を遂行中です。

第4四半期の取り組み・記事掲載

■【開催報告】Glass Rock共創セミナー「データと実践から考える、共創のこれから」

2025年6月18日、VALUENEXは虎ノ門ヒルズステーションタワーのGlass Rockにて、「データと実践から考える、共創のこれから」と題したセミナーを開催しました。

本イベントは、Glass Rockにて行われた展示「サステナビリティの本音」プロジェクトに関連するプログラムの一環として実施されたもので、上場企業300社の統合報告書をもとにした可視化データと、企業現場の実践的な取り組みを掛け合わせ、社会課題起点の共創のあり方を探る内容となりました。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/glass-rock-event-report>

■DX認定取得のお知らせ

このたび、VALUENEX株式会社は、経済産業省が推進するDX認定制度において、「DX認定事業者」として認定されました。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/2025/dx-certification>

第4四半期(5~7月) メディア掲載・セミナー登壇一覧

メディア 掲載	2054年 7月11日 AGC様の統合レポート2025に弊社ツールで作成した俯瞰図が掲載	https://www.valuenex.com/jp/news-list/2025-agc-integrated-report
セミナー 登壇	2025年 7月 7日 【開催報告】Glass Rock共創セミナー「データと実践から考える、共創のこれから」	https://www.valuenex.com/jp/news-list/glass-rock-event-report

開発の状況

1. Radar QFD（開発現場で活用される品質表を自動生成するツール）※の改良
2. 生成AIを利用し全自動化を目指した新サービス立ち上げに向けた開発
3. お客様ツール(VALUENEX Radarアプリ)の機能改良
4. VALUENEX Radarの改良

※ Radar QFD とは

「Radar QFD」は、AIが顧客のニーズ（欲しいもの）と企業のシーズ（作れる技術）を自動で分析し、結びつけてくれる新製品開発ツールです。このツールによって、どの技術を優先して開発すればヒット商品に繋がるかが客観的なスコアで示されるため、開発者は迷わず開発に集中できます。結果として、企画・開発・経営の全員がデータに基づいた共通の目標を持てるようになり、会社全体として「市場が本当に求める製品」を迅速かつ効率的に生み出すことが可能になります。

項目

1 2025年7月期業績報告

2 2026年7月期連結業績予想

3 事業概要

2026年7月期連結業績予想

トランプ関税や国際情勢等、当社グループの業績に与える影響が依然として不透明であることから、現時点で損益の合理的な予測が困難な状況となっております。

以上の状況から、次期（2026年7月期）の連結業績予想につきましては未定とさせていただき、今後の業績への影響を慎重に見極め、開示可能となった時点で速やかに公表いたします。

項目

1 2025年7月期業績報告

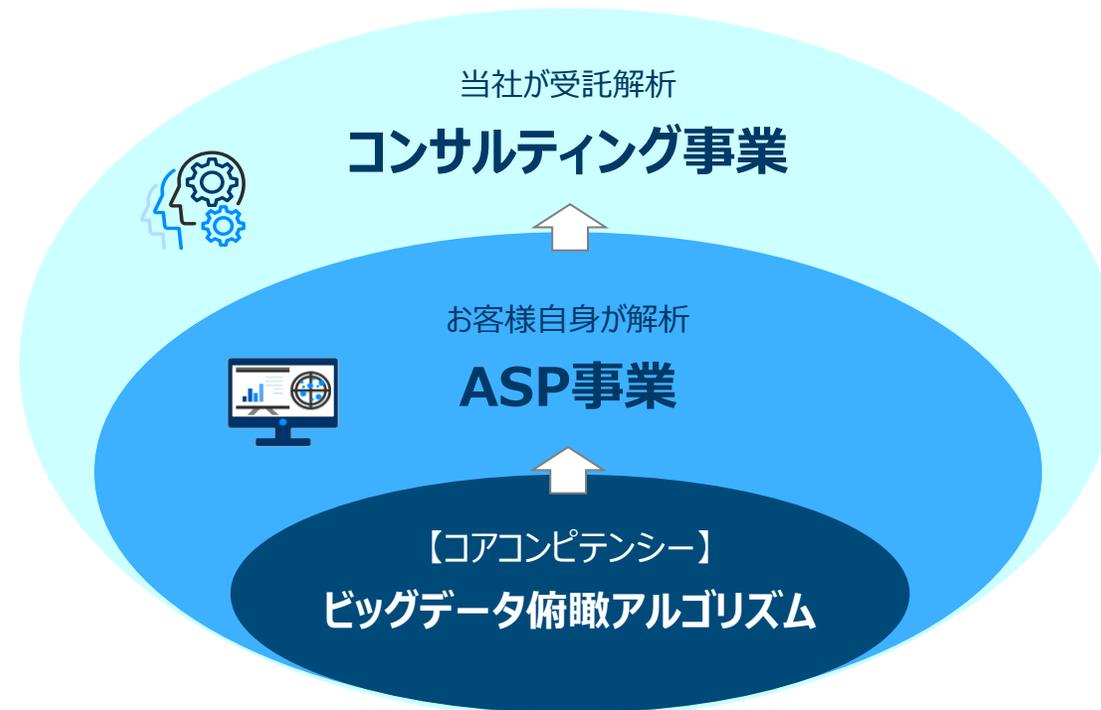
2 2026年7月期連結業績予想

3 事業概要

当社のアルゴリズム事業

当社アルゴリズム事業は主に2つの販売形態から成り立っております。

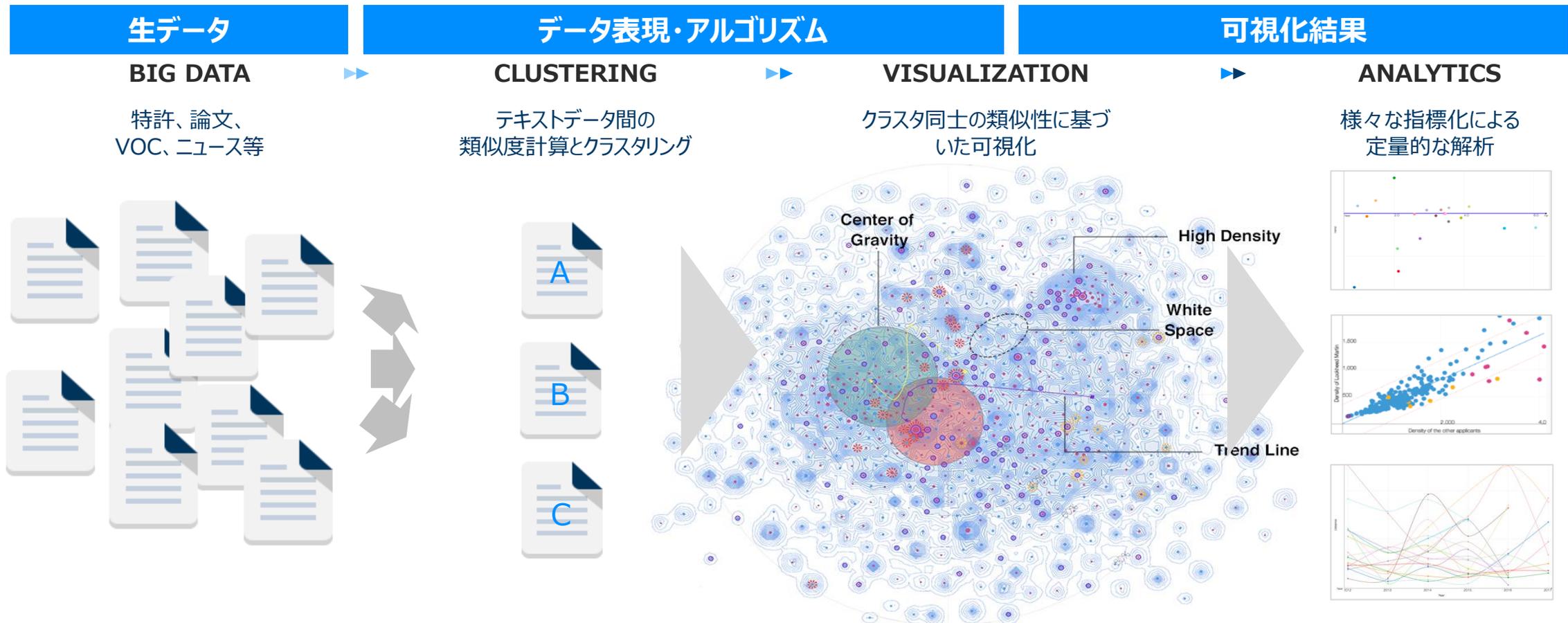
- ・ 俯瞰解析アルゴリズムを活用したコンサルティング事業
- ・ 当該アルゴリズムを根幹とするASP事業



※ ASP = Application Service Providerの略。インターネット等のネットワークを通じてアプリケーションソフトウェアを提供するサービス

VALUENEXツールの概要

大量のテキストデータ同士の類似性を可視化した俯瞰図により、テキストデータの全体像を把握する手法です。これにより、知的財産、研究開発、マーケティング等に資する知見の獲得が可能です。

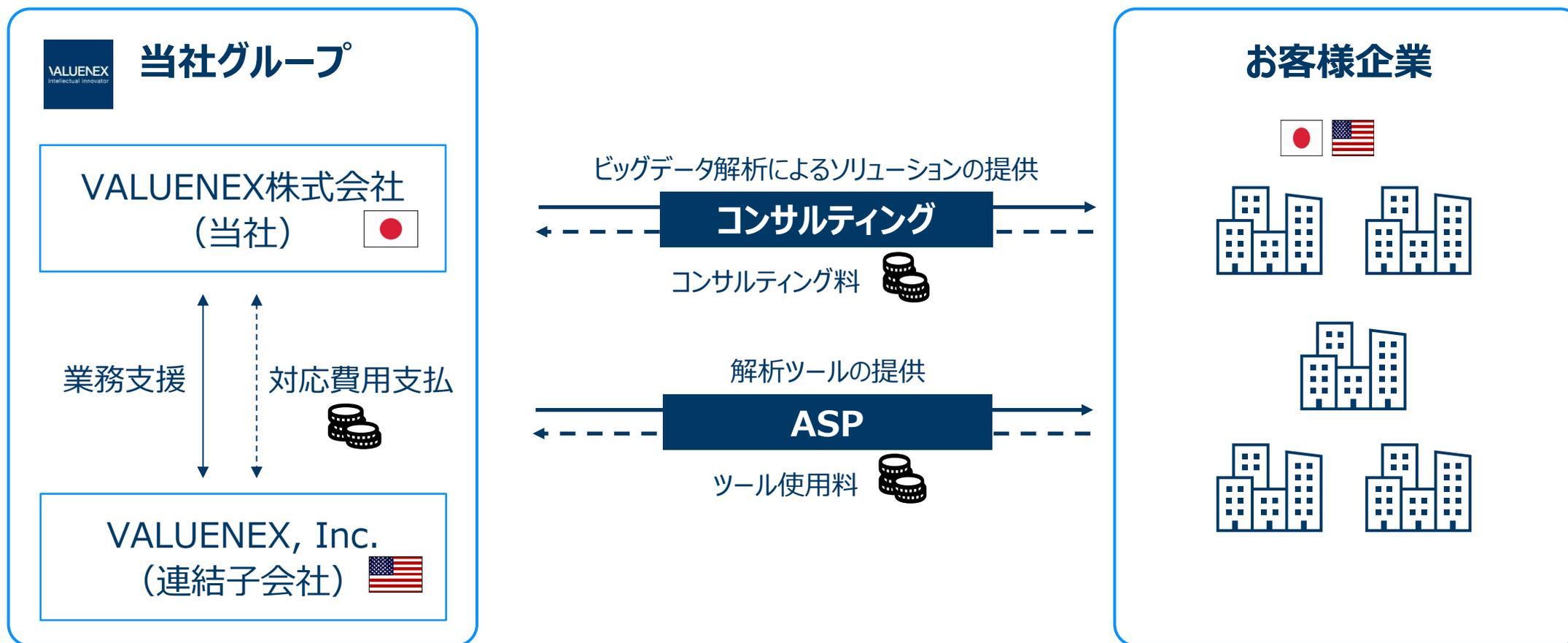


VALUENEX サービスアウトライン

サービス		概要	解析対象テキストデータ
コンサルティング		<ul style="list-style-type: none"> ご要望に応じてVALUENEXが調査・分析を実施。弊社コンサルタントが弊社のSaaSを活用し、お客様とともに課題解決を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象データはご相談の上決定 ・特許 ・論文 ・その他文献
VALUENEX Radar (SaaS)		<ul style="list-style-type: none"> あらゆる情報源から技術動向分析、新規事業創出、市場ニーズ把握など様々なビジネス戦略に活かせるデータ解析ツールです。 ・非特許文献（論文、アンケート、VOCなど） ・特許文献問わず、多種多様なテキストデータを解析 ・高速1,000件～最大10万件の文献を読み込み可能 	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる文献 ・特許 ・論文 ・ニュース、SNS ・新聞、雑誌 ・アンケートなど ・貴社内各種データ ・スタートアップデータ ・その他テキストデータ <p>※特許DBはオプション販売有</p>
VALUENEX Radar サポートサービス	伴走サービス	<ul style="list-style-type: none"> VALUENEX導入後の活用にご不安をお持ちの方、また初めて俯瞰解析に携わる方に、お困りの点について伴走をさせていただきます。 ・部門、ご自身の俯瞰解析スキルを向上させたいという方 ・一定レベルの俯瞰解析スキルを身につけたいという方 	
	コーチング	<ul style="list-style-type: none"> VALUENEX Radarご利用のお客様向けのアシストサービス お客様とともにトータルで俯瞰解析のコーチングを実施させていただきます。 ・より付加価値のある解析を行いたい、特定のテーマに関する解析を全面的にサポート ・解析観点や方法の設定、まとめ方等に不安がある方 ・DX人材、データサイエンティスト育成を検討されている方 	
カスタム開発 (協業による新規事業開発)		<ul style="list-style-type: none"> お客様が提供するサービスへ俯瞰解析機能を付加、または新しく解析ツールを開発する等、新規事業を共同開発します。 例) Stand Aloneサービス、API提供 	<ul style="list-style-type: none"> ご相談

事業モデル

当社独自の解析ツール(ASP)の提供、知的財産等幅広い分野の俯瞰解析から予測分析・戦略活用まで、コンサルティングサービスやレポート販売サービスを提供しております。



注：図中の実線矢印はサービス提供を意味し、破線矢印はお金の流れを意味します。

Appendix

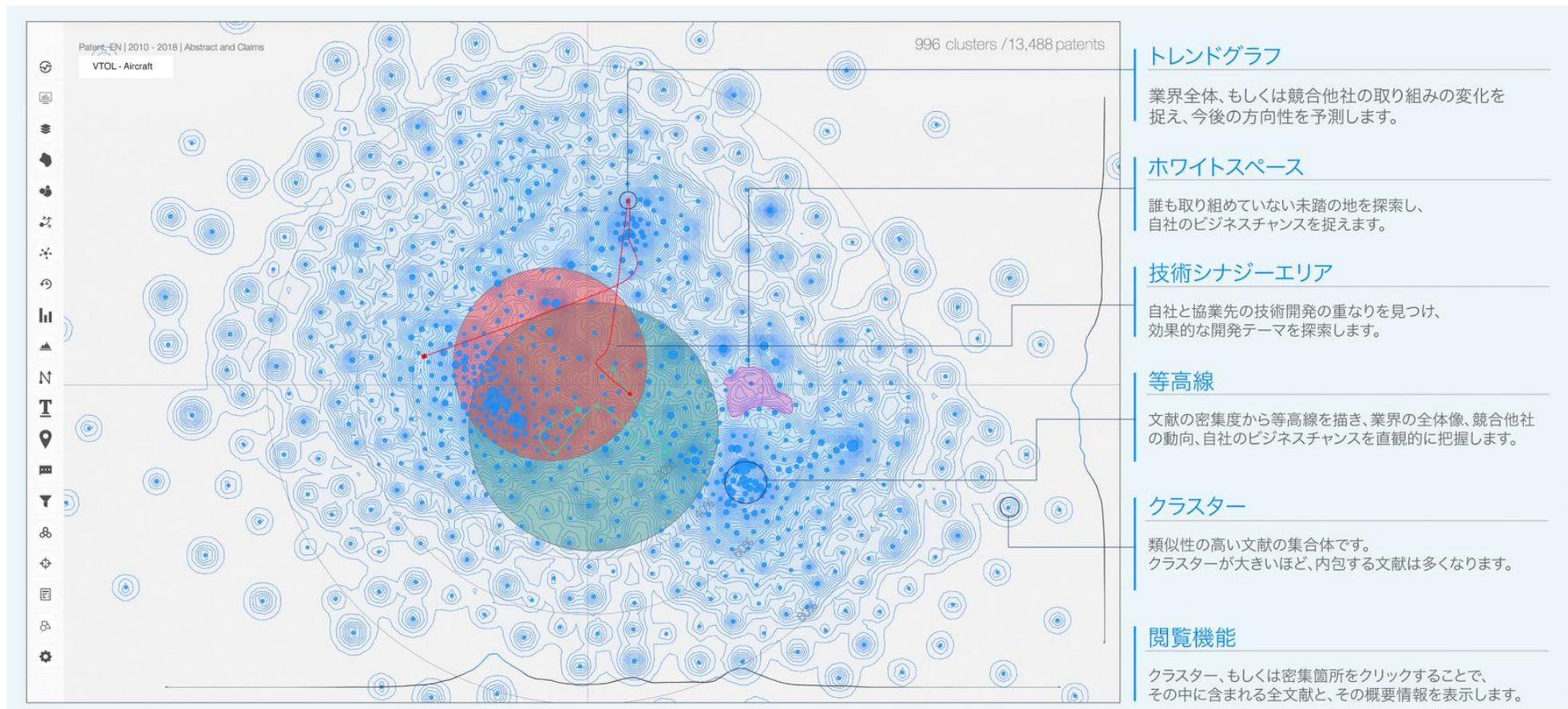
会社概要

社名	VALUENEX株式会社		
事業内容	アルゴリズム事業	設立	2006年8月1日
所在地	東京都文京区小日向 四丁目5番16号		
資本金	82百万円（2025年7月31日現在）		
連結子会社	VALUENEX, Inc.（100%子会社） ※在米国		
従業員数	連結33名、単体28名（2025年7月31日時点） ※役員除く		
役員	<p>中村 達生 : 代表取締役社長 CEO / 博士（工学）</p> <p>鮫島 正明 : 専務取締役 CFO / MBA</p> <p>本多 克也 : 常務取締役 先進情報学研究所長 / 博士（工学）</p> <p>片桐 広貴 : 取締役 CTO / 工学修士</p> <p>瀧口 匡 : 取締役 経営企画担当 / 博士(国際経営)</p> <p>Choi Jiyounng : 取締役 海外事業担当</p> <p>鈴木 理晶 : 社外取締役 / 弁護士</p> <p>松田 均 : 社外常勤監査役 / 公認内部監査人</p> <p>宮内 宏 : 社外監査役 / 弁護士</p> <p>金子 良太 : 社外監査役 / 公認会計士・米国公認会計士（ワシントン州）</p>		

当社ASPの検索・可視化イメージ

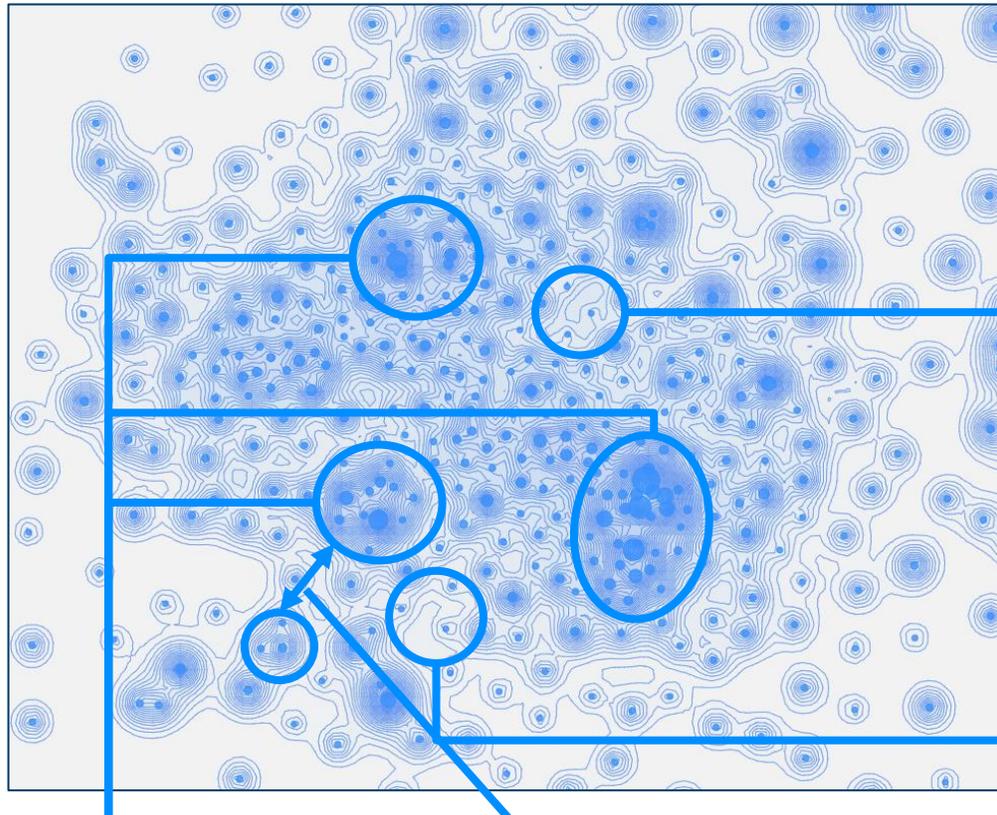
検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

当社ASPのイメージ図（俯瞰図）



俯瞰図の基本的な見方

テキストデータ同士の内容の関連性に基づく配置により、大量のテキストデータの全体像を把握しやすくします。



- 各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ
- ● クラスタの大きさは、その中に含まれる文書の数に比例
- ● ● クラスタ間の距離はクラスタ間の類似度を表現（似ているほど近い）
- ● ● XY軸は予め定義されていない。クラスタ同士の類似性を最適に表現できるように配置を決定

クラスタが密集

= データセット中に多く含まれている技術や市場ニーズなどの情報

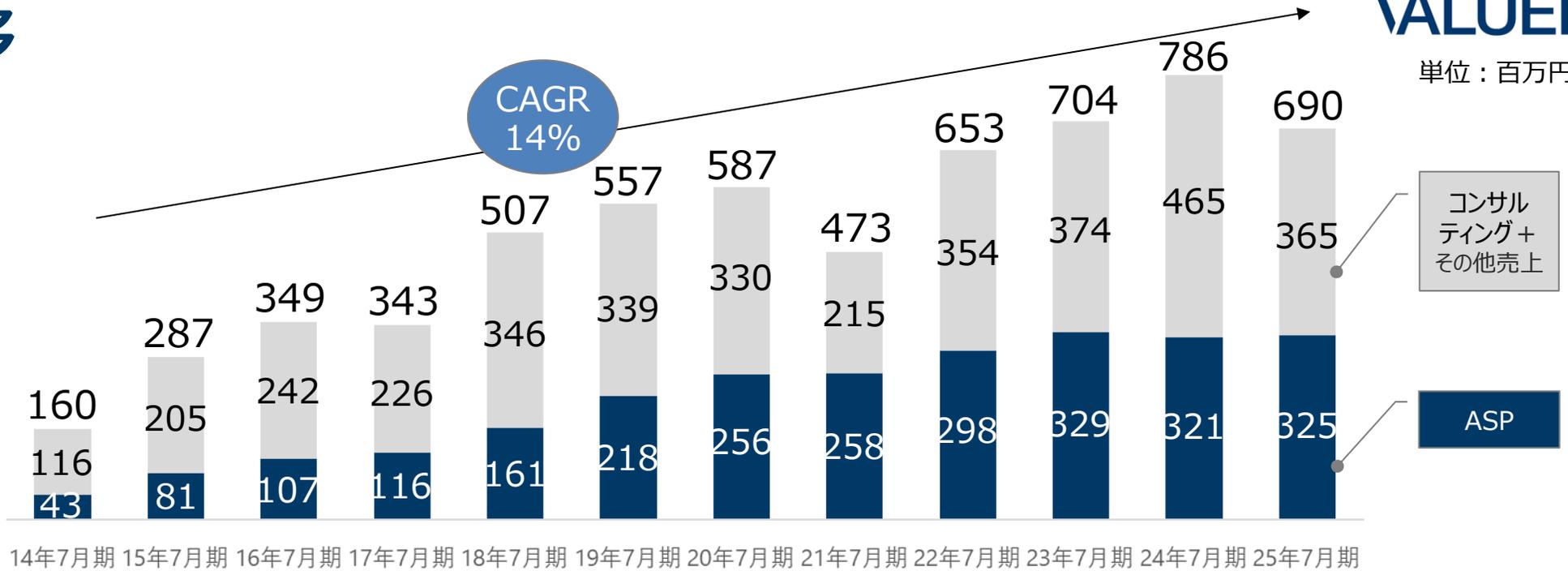
クラスタ間の距離が近い ホワイトスペース

= 内容の関連性が高い

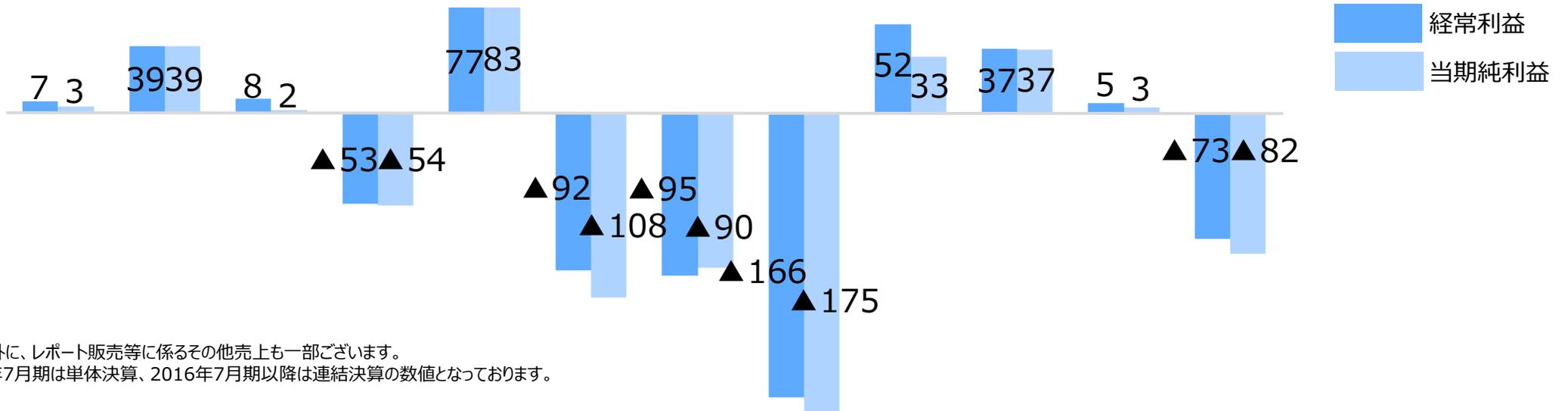
業績推移

単位：百万円

売上高注



経常利益
当期純利益



注：ASPとコンサルティング以外に、レポート販売等に係るその他売上も一部ございます。
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

VALUENEX



www.valuenex.com
customer@valuenex.com